

<教育利用> ⑤ 探究学習における知識の整理

●目的

総合的な探究の時間で、生徒個人が設定した研究テーマに関する知識を増やす

●活用の詳細

1. 生徒は自らの研究テーマに関する質問を Microsoft Copilotに投げかける
2. 返ってきた内容に関して、既に知っているかそうでないかを判断する
3. 知らない内容が返ってきた場合は、その事実確認を行う

●成果や課題

- 個人探究のレポートを執筆し、推敲段階に入っている2年次生の授業で実施したので、深い探究学習ができていた生徒にとっては既習事項の確認作業になった。
- 研究テーマを決める前に本実践を行うことで、アイデアを増やし、ファクトチェックの重要性を学ぶ機会にもなる。
- 生徒個人が執筆したレポートの論理性や整合性を確認するツールに発展させていくことが今後の課題である。

